

コースコード：RH-RH124

税抜価格：220,000円

日数：5日間

前提条件

何らかのオペレーティングシステムでのコンピュータ・アプリケーションの技術ユーザーとしての基本スキルが求められます。

受講対象者

このコースは、現在のスキルの補強または他のチームメンバーの支援に関心がある Windows システム管理者、ネットワーク管理者、その他のシステム管理者、および同様の業務を担当する Linux システム管理者向けです。

確立された標準と手順を使用した、Linux システムの設定、インストール、アップグレード、保守運用面でのサポートの実施
システム管理によるシステムパフォーマンスと可用性の監視
タスク自動化とシステム管理のためのスクリプトの作成とデプロイ

コース概要

コマンドラインの概要

物理ストレージの管理

ソフトウェアコンポーネントおよびサービスのインストールと設定

ネットワーク接続の確立とファイアウォール制限の制御

実行中のプロセスの監視と管理

ファイルおよびファイルシステムの管理とセキュリティ保護

ユーザーとグループの管理

システムログファイルとジャーナルの確認による問題の検出

Red Hat Insights による問題のトラブルシューティングとシステムの分析

SSH と Web コンソールによるシステムのリモート管理

目的

Red Hat Enterprise Linux

サーバーの管理に必要なコアシステム管理を対象とする、2コース構成の

1コース目

本トレーニングでは、Linux の基本概念とコアタスクに焦点を当て、Linux®



管理の「サバイバルスキル」を習得します。専任の Linux システム管理者になるために、まず、コマンドラインの概念とエンタープライズレベルのツールを適用する方法を学びます。そして次に、Red Hat システム管理 II (RH134) を学習します。

このコースは Red Hat® Enterprise Linux 8 に基づいています。

アウトライン

Red Hat Enterprise Linux の基礎知識

オープンソース、Linux ディストリビューション、Red Hat Enterprise Linux を説明し、定義します。

コマンドラインへのアクセス

Linux システムにログインし、シェルを使用して簡単なコマンドを実行します。

コマンドラインでのファイル管理

bash

シェルで操作して、ファイルをコピー、移動、作成、削除、および整理します。

Red Hat Enterprise Linux のヘルプの利用

ローカルヘルプシステムを使用して問題を解決します。

テキストファイルの作成、表示、および編集

コマンド出力またはテキストエディターでテキストファイルを管理します。

ローカルユーザーとグループの管理

ローカルユーザーとグループ、および管理者のローカル・パスワード・ポリシーを作成、管理、削除します。

ファイルへのアクセスの制御

ファイルに Linux ファイルシステム・パーミッションを設定し、さまざまな権限設定のセキュリティ効果を理解します。

Linux プロセスの監視と管理

Red Hat Enterprise Linux

システムで実行されるプロセスを評価し、制御します。

サービスとデーモンの制御

systemd

を使用して、ネットワークサービスとシステムデーモンを制御および監視します。

SSH の設定とセキュリティ保護

OpenSSH を使用して、リモートシステムでセキュアなコマンドラインサービスを設定します。



ログの分析と保存

トラブルシューティングのために、システムイベントログを検索して正しく解釈します。

ネットワークの管理

Red Hat Enterprise Linux

サーバーのネットワーク・インタフェースと設定を指定します。

ファイルのアーカイブと転送

異なるシステム間でファイルのアーカイブとコピーを実行します。

ソフトウェアのインストールとアップデート

Red Hat および YUM のパッケージリポジトリからソフトウェアパッケージをダウンロード、インストール、更新、および管理します。

Linux ファイルシステムへのアクセス

Linux サーバーに接続されたストレージ上の既存のファイルシステムにアクセスし、検査および使用します。

サーバーの分析とサポートの利用

Web ベースの管理インタフェースで問題を調査し、Red Hat からのサポートを利用して問題解決の支援を受けながら解決します。

理解度の確認

実践的な演習を行って、このコースの内容を確認します。